

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2024年4月25日(25.04.2024)



(10) 国際公開番号

WO 2024/085151 A1

(51) 国際特許分類:

B43K 19/14 (2006.01)

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2023/037572

(22) 国際出願日:

2023年10月17日(17.10.2023)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願 2022-166991 2022年10月18日(18.10.2022) JP

(71) 出願人: 三菱鉛筆株式会社
(MITSUBISHI PENCIL COMPANY, LIMITED)

[JP/JP]; 〒1408537 東京都品川区東大井5丁目2番37号 Tokyo (JP).

(72) 発明者: 梶塚 孝士 (KAJIZUKA Takashi);

〒5530007 大阪府大阪市福島区大開4丁目1番186号 レンゴー株式会社中央研究所内 Osaka (JP). 橋本 千嘉 (HASHIMOTO Chika); 〒1240001 東京都葛飾区小菅4丁目2番15号 レンゴー株式会社葛飾工場内 Tokyo (JP). 深沢 直人 (FUKAZAWA Naoto); 〒1408537 東京都品川区東大井5丁目2番37号 三菱鉛筆株式会社内 Tokyo (JP). 吉田 和則 (YOSHIDA Kazunori); 〒1408537 東京都品川区東大井5丁目2番37号 三菱鉛筆株式会社内 Tokyo (JP).

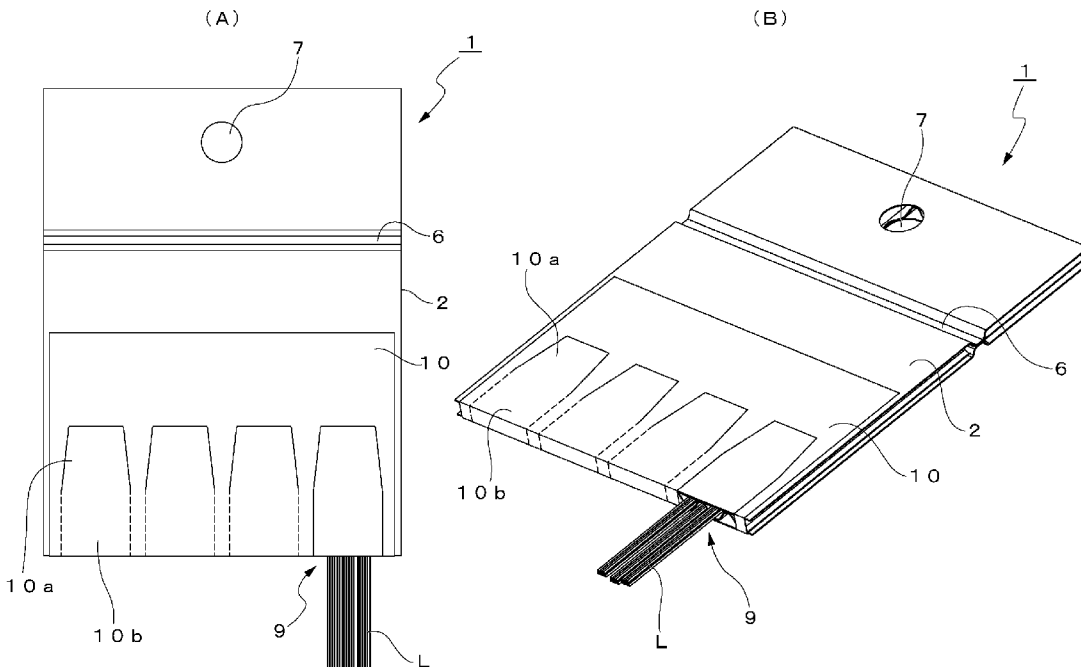
(74) 代理人: 木下 茂 (KINOSHITA Shigeru);

〒2100007 神奈川県川崎市川崎区駅前本

(54) Title: REPLACEMENT LEAD PACKAGE AND REPLACEMENT LEAD SET FOR WRITING IMPLEMENT

(54) 発明の名称: 筆記具の替芯パッケージ及び替芯セット

[図6]



(57) Abstract: The present invention provides a replacement lead package and a replacement lead set which are for a writing implement and which achieve a plastic-free state and suppress an increase in manufacturing costs. This replacement lead package is constituted by a flat plate body 2 composed of a cardboard comprising a core formed by a paper base material in a wavy shape, and a liner composed of a paper base material adhered to both surfaces of the core, wherein a linear space section formed between the core and the liner is used as a replacement lead chamber, and the replacement

[続葉有]

町 1 1 番 地 1 号 パシフィックマークス
川崎 1 1 階 Kanagawa (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MU, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, CV, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SC, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, ME, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

一 国際調査報告 (条約第21条(3))

lead L for a writing tool is accommodated in the replacement lead chamber. A replacement lead extraction hole 9 of the replacement lead chamber is formed in an end section of the flat plate body 2, and a label seal 10 for covering the lead replacement extraction hole 9 is stuck to the flat plate body 2 and thus the replacement lead extraction hole 9 is sealed.

(57) 要約: 脱プラスチック化を図ると共に、製造コストの高騰を抑えた筆記具の替芯パッケージ及び替芯セットを提供すること。紙基材により波状に形成された中しんと、中しんの両面に貼着された紙基材によるライナとを備えた段ボールによる平板体2で構成され、中しんとライナの間に形成された直線状空間部を替芯収容室として、当該替芯収容室内に筆記具の替芯Lが収容される。平板体2の端部には、替芯収容室の替芯取出し口9が形成され、替芯取出し口9を覆うラベルシール10が平板体2に貼着されて、替芯取出し口9を封緘している。

明 細 書

発明の名称：筆記具の替芯パッケージ及び替芯セット

技術分野

[0001] この発明は、筆記具の替芯を比較的多量に収容可能な替芯パッケージと、当該パッケージから小分けされた替芯を収容可能な替芯ケースを含む替芯セットに関する。

背景技術

[0002] 例えば、シャープペンシル用の替芯は、細長く成形された樹脂製の替芯ケース内に、数十本単位で収容されて提供されており、これを利用するユーザーは替芯が使い終わった際には、樹脂製の替芯ケースを廃棄処分することになる。

しかし、近年において海洋に流出するマイクロプラスチックの問題が注目されており、使い捨てを前提としたプラスチックの使用を控えるなど、地球環境問題に対する取り組みの機運が高まっている。

[0003] そこで、環境保護を目的として、紙を素材とした替芯ケースについて、いくつかの提案がなされている。

特許文献1には、紙素材による円筒状本体の下端に、円盤状の底板を取り付け、円筒状本体の上部に天板を備えた紙素材による円筒状の蓋体を回動可能に取り付けた替芯ケースが開示されている。

この替芯ケースによると、円筒状本体側に形成された切り欠きと、蓋体の天板に形成された切り欠きを一致させることで、切り欠きを介して円筒状本体内に収容された替芯を取り出すことができる。

[0004] 特許文献2には、外ケース内に替芯を収容する中ケースが上下動可能に挿入され、中ケース上端に回動開閉する蓋が形成された替芯ケースが開示されている。

この替芯ケースにおいては、回動開閉する蓋の上端に、外ケースの一部に係止する舌片が設けられており、中ケースの上昇に伴う外ケースへの前記舌

片の係止作用により、開閉蓋を開くように構成されている。そして、前記外ケースと中ケースはそれぞれ紙素材を利用して折り曲げ成形されている。

[0005] 特許文献3には、替芯を収容した紙製の角筒状の内ケースと、この内ケースを覆う紙製の角筒状の外ケースとにより構成した替芯容器が開示されている。

内ケースの天面パネルの隅角部には芯取出し口が形成され、外ケースには内ケースの天面パネルを覆うことができるヒンジ開閉部が形成されている。従って、ヒンジ開閉部を開くことによって、内ケースの芯取り出し口から替芯を取り出すことができる。

先行技術文献

特許文献

[0006] 特許文献1：実開平7－23587号公報

特許文献2：特開平10－109492号公報

特許文献3：特開平11－180090号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0007] 前記した紙を素材とした替芯ケースにおいては、いずれも内ケースと外ケースなどの二つ以上の部材を組み合わせて構成されており、これらを多量生産するには、前記した内ケースと外ケースとなる紙素材を折り曲げ成形するなどの自動機が必要であり、これにより替芯ケースの製造コストの高騰は免れないものとなる。

また、シャープペンシル用の替芯は、替芯ケース内に数十本（例えば40本）程度の単位で収容されて提供されており、この替芯が使い終われば、替芯ケースも廃棄処理されることになる。従って、替芯ケースの製造コストに見合う十分な利用実績を果たすことなく替芯ケースは廃棄されるものとなる。

[0008] この発明は、前記した実情に着目してなされたものであり、筆記具の替芯

を比較的多量に收容可能な替芯パッケージを、プラスチック材料の減量に寄与するために、いわゆる段ボールを用いて構成すると共に、前記替芯パッケージから小分けして取り出された一乃至複数本の替芯を、替芯ケースに移して利用可能にしようとするものである。

これにより、脱プラスチック化を図ると共に、製造コストの高騰を抑えた筆記具の替芯パッケージ及び替芯セットを提供することを課題とするものである。

課題を解決するための手段

[0009] 前記した課題を解決するためになされたこの発明に係る筆記具の替芯パッケージは、紙基材により波状に形成された中しんと、前記中しんの両面に貼着された紙基材によるライナとを備えた段ボールによる平板体で構成され、前記中しんとライナの間に形成された直線状空間部を替芯收容室として、当該替芯收容室内に筆記具の替芯を收容したことを特徴とする。

[0010] この場合、前記平板体の端部には、前記替芯收容室の替芯取出し口が形成され、前記替芯取出し口を覆うラベルシールが、前記平板体に貼着されていることが望ましい。

[0011] そして、好ましくは前記替芯收容室の一部には、替芯を收容しない空き室の替芯收容室が設定され、前記替芯は小分けした複数本の替芯を組として、前記空き室となる替芯收容室を除いて、間欠的に前記替芯收容室に收容される。

[0012] また、前記平板体には、平板体の面に直交する方向に圧縮閉鎖部が施されることで、前記替芯收容室を形成する前記直線状空間部の一方が閉塞された状態になされる。

[0013] 一方、この発明に係る筆記具の替芯セットは、前記した筆記具の替芯パッケージと、当該筆記具の替芯パッケージから取り出された一乃至複数本の替芯を收容可能な替芯ケースとを含む形態で提供される。

発明の効果

[0014] 前記したこの発明に係る筆記具の替芯パッケージは、波状に形成された中

しんの両面に、ライナを貼着した段ボールによる平板体により構成される。
そして、中しんとライナの間に形成された直線状空間部を替芯収容室として、
前記替芯収容室内に筆記具の替芯を収容した状態で提供される。

[0015] 従って、替芯パッケージから小分けして取り出した一定量の替芯を、既存の替芯ケースに詰め替えて利用することができるので、小分けした替芯を収容する替芯ケースが、たとえ樹脂素材により成形されたものであっても、これが使い捨てられることなく、継続して利用されるものとなる。

[0016] また、前記した替芯ケースを所持していない場合には、前記した替芯パッケージと替芯ケースとを含む替芯セットを入手することで、同様の効果を得ることができる。これにより、脱プラスチック化を図ることができる共に、製造コストの高騰を抑えた筆記具の替芯パッケージ及び替芯セットを提供することができる。

図面の簡単な説明

[0017] [図1]この発明に係る替芯パッケージを示し、(A)は正面図、(B)は背面図である。

[図2]同じく替芯パッケージを示し、(A)は正面側から見た斜視図、(B)は上部の端面図、(C)は下部の端面図である。

[図3]替芯パッケージを構成する平板体の組立て例を示し、(A)は中しんとライナの接合前の状態を、(B)は接合した状態を、(C)は圧縮閉塞部等を施した状態を示す。

[図4]替芯パッケージに替芯を充填する状態を示した斜視図である。

[図5]替芯パッケージに替芯を充填した好ましい態様を示し、(A)は斜視図、(B)は替芯パッケージの下部の端面図である。

[図6]替芯パッケージから替芯を取り出す状態を示し、(A)は背面図、(B)は背面側から見た斜視図である。

[図7]替芯パッケージから替芯ケースに替芯を詰め替える状態を、替芯ケースを手前にした状態で示した斜視図である。

[図8]同じく替芯パッケージを手前にした状態で示した斜視図である。

発明を実施するための形態

[0018] この発明に係る筆記具の替芯パッケージ及び替芯セットについて、図に示す実施の形態に基づいて説明する。

先ず、図1～図6は筆記具の替芯パッケージについて示しており、図1及び図2は替芯パッケージ全体の外観構成を示している。この替芯パッケージ1は、紙を素材とした段ボールを矩形状に成形した平板体2により構成されている。

この段ボールによる平板体2を構成する各部材の例が図3に示されており、平板体2は図3(A)に示すように紙基材により波状に形成された中しん3と、前記中しん3の両面に配置される紙基材による表ライナ4と、裏ライナ5により構成される。

[0019] そして、図3(B)に示すように表ライナ4と裏ライナ5は、中しん3を中央にして貼り合わされることで、両面段ボールによる平板体2が形成される。また、前記平板体2の一端部（上端部）寄りには、図3(C)に示すように中しん3に施された波状のパターンを横切る方向に、圧縮閉鎖部6が形成されており、この圧縮閉鎖部6は、平板体2の表裏両面から平板体2を圧縮して凹ませた状態で、直線状に形成されている。

[0020] 圧縮閉鎖部6の成形においては、圧縮閉鎖部6を形成するための上下に対峙する治具の一方の凹凸歯と他方の凹凸歯との位置を、直線方向において互いにずらすこと、すなわち凹と凸が互いに対峙するように配置することで、圧縮閉鎖部6の長手方向に沿って、前後に向かって効果的に凹凸痕を付与することができる。

これにより、中しん3を中央とした表ライナ4と裏ライナ5が剥がれにくくなり、長期にわたり圧縮閉鎖部6の形態を維持させることができる。

なお、前記圧縮閉鎖部6は、後で説明する互いに平行状態に形成される多数の直線状空間部による替芯収容室8の各一方（上部）を閉塞するものとなる。

[0021] また、前記した圧縮閉鎖部6の上部中央には、丸孔状に形成された吊り下

げ孔 7 が貫通状態で形成されており、これは替芯パッケージ 1 を文具店などで陳列販売する際に、商品吊り下げ用のバーフックに吊り下げるために用いられる。

なお、前記圧縮閉鎖部 6 と吊り下げ孔 7 とは、平板体 2 に対して同時に成形加工することができる。

[0022] 図 4 及び図 5 は、前記した段ボールによる平板体 2 内に形成された替芯収容室に替芯を収容する状態、及び替芯収容室に収容された替芯の好ましい配列状態の例を示している。

この実施の形態においては、前記した波状に形成された中しん 3 と、表裏のライナ 4, 5 との間に形成された直線状空間部を替芯収容室 8 として利用している。

すなわち、替芯パッケージ 1 を吊り下げ孔 7 を利用して吊り下げた状態において、前記した圧縮閉鎖部 6 から下側の領域において、垂直方向に配列された多数の直線状空間部が、替芯収容室 8 [図 5 (B) 参照] となる。

そして、吊り下げられた状態の替芯パッケージ 1 における平板体 2 の下端部が、替芯 L の挿入口を兼ねる替芯取出し口 9 となる。

[0023] この替芯パッケージ 1 の実施の形態においては、前記替芯収容室 8 の一部には、替芯 L を収容しない空き室の替芯収容室が設定され、前記替芯 L は小分けした複数本（例えば 40 本）のシャープペンシル用の替芯を組として、前記空き室となる替芯収容室を除いて、間欠的に前記替芯収容室 8 に収容される（図 5 参照）。

そして、図示例においては、1 つの替芯パッケージ 1 に 4 組の替芯 L が収容されるものとなる（図 4 参照）。

[0024] 図 1 に戻り、前記した替芯収容室 8 の表側（表ライナ 4）から裏側（裏ライナ 5）に沿って、ラベルシール 10 が貼り付けられており、このラベルシール 10 によって平板体 2 の下端部に形成された替芯取出し口 9 を封緘している。これにより、替芯収容室 8 に収容した 4 組の替芯 L の飛散を防いでいる。

[0025] 前記ラベルシール10には、前記した4組の替芯Lの収容位置にそれぞれ対応して、図1(B)に示す替芯パッケージ1の裏側において、糊付けされていないフラップ10aが形成されている。このフラップ10aに続いて、ミシン目で囲まれた糊付けされた剥離部10bが短冊状に形成されている。そして、ミシン目で囲まれた剥離部10bは、図1(A)に示すように替芯パッケージ1の表側にまで続いている。

従って、ユーザーはラベルシール10に形成されたいずれかのフラップ10aをつまんで、剥離部10bを引き剥がすことで、一組(40本)の替芯Lを替芯パッケージ1から取り出すことができる。

なお、図6は、替芯パッケージ1を裏面にした状態で、向かって右側の組の替芯Lを、取り出す例を示している。

[0026] これにより、替芯パッケージ1から小分けした一組の替芯Lを、既存の替芯ケースに詰め替えて利用することができるので、小分けした替芯を収容する替芯ケースが、たとえ樹脂素材により成形されたものであっても、これが使い捨てられることなく、継続して利用されるものとなる。

[0027] 図7及び図8は、ユーザーが前記した替芯ケースを所持していない場合を想定して、前記した替芯パッケージ1と替芯ケース11とを、替芯セットとして提供する例を示している。

この例に示す替芯ケース11は、替芯パッケージ1から小分けした一組の替芯L(40本)を収容することができ、かつ図7に示すように替芯ケース11に形成された替芯収容口の幅寸法W1は、替芯パッケージ1に小分けして収容された状態の一組の替芯Lの全体の幅寸法W2に対して、広口となる関係($W1 > W2$)に設定されている。

[0028] そして、この替芯ケース11は、カバー部材11aに対して裏側のケース本体部11bが、前方に向かってスライド可能となるようにカバー部材11aに取り付けられている。前記ケース本体部11bを前方に向かってスライドさせた場合には、ケース本体部11bの先端が、背面側に反るようにして変形し、替芯収容口が開くように動作する。

[0029] 前記した替芯セットによると、図7に示すように替芯パッケージ1に対して、替芯ケース11を斜め下に位置させて、替芯パッケージ1から替芯ケース11側に替芯Lを滑らすようにして、開口した状態の替芯収容口に注ぎ込むことで、一組の替芯Lの全数を替芯ケース11側に円滑に移し替えることができる。

なお、前記した替芯ケース11については、本出願人において先に出願をしており、これは、特開2022-96637号として公開されている。

[0030] 以上の説明で明らかなとおり、この発明に係る筆記具の替芯パッケージ及び替芯セットによると、脱プラスチック化を図ることができる共に、製造コストの高騰を抑えることができるなど、前記した発明の効果の欄に記載した作用効果を得ることができる。

なお、前記した実施の形態においては、替芯パッケージ1として、シャープペンシルの替芯を収容する例に基づいて説明したが、この発明に係る替芯パッケージは、シャープペンシルの替芯に限らず、例えばボールペンの替芯（ボールペンリフィル）を収容するものであっても、同様の作用効果を発揮することができる。

産業上の利用可能性

[0031] 以上のように、本発明に係る筆記具の替芯パッケージ及び替芯セットは、地球環境問題に対する一つの取り組み（脱プラスチック化の促進）として有用である。

符号の説明

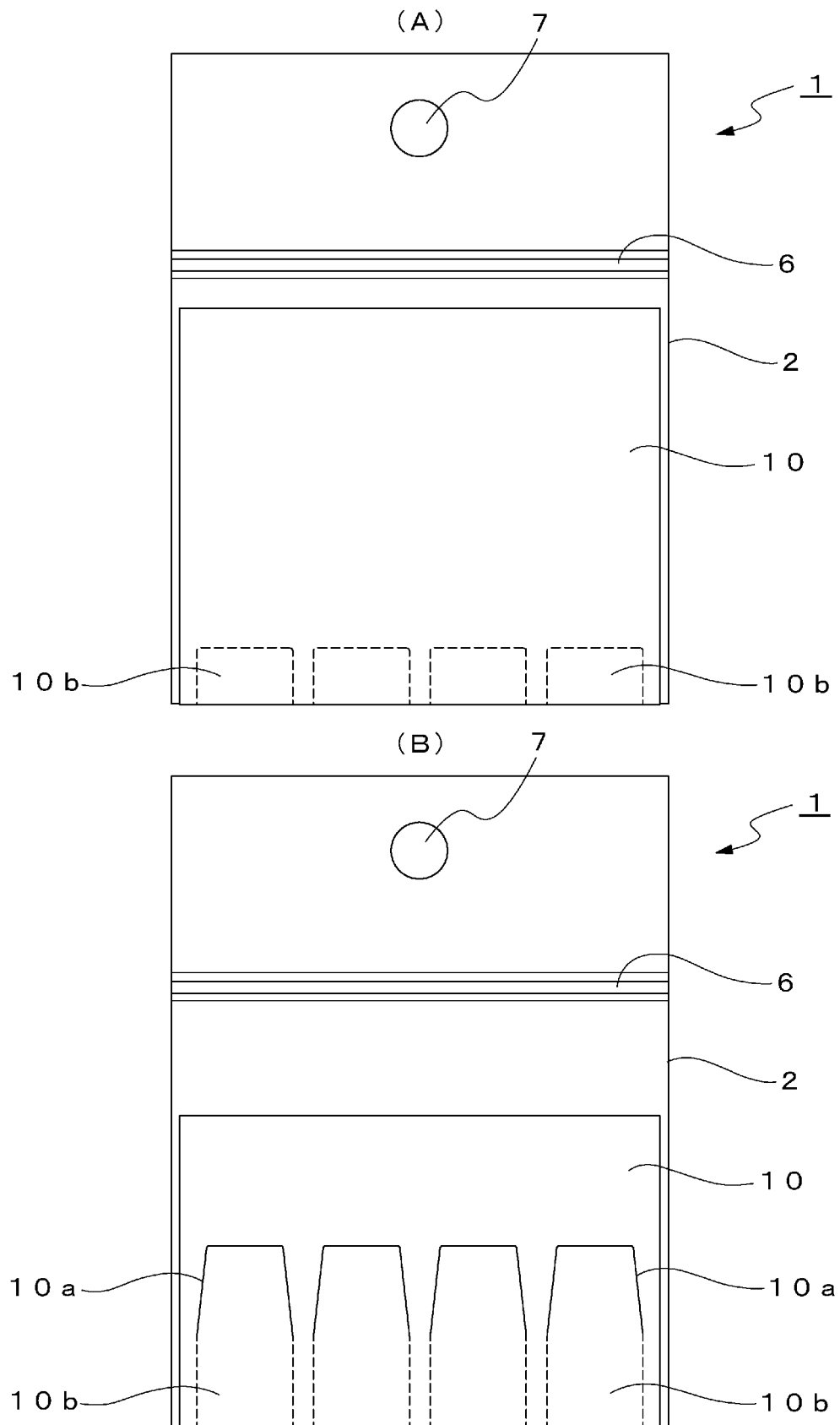
[0032]	1	替芯パッケージ
	2	平板体
	3	中しん
	4	表ライナ
	5	裏ライナ
	6	圧縮閉鎖部
	7	吊り下げ孔

- 8 替芯収容室
- 9 替芯取出し口
- 10 ラベルシール
- 10 a フラップ
- 10 b 剥離部
- 11 替芯ケース
- 11 a カバー部材
- 11 b ケース本体部
- L 替芯

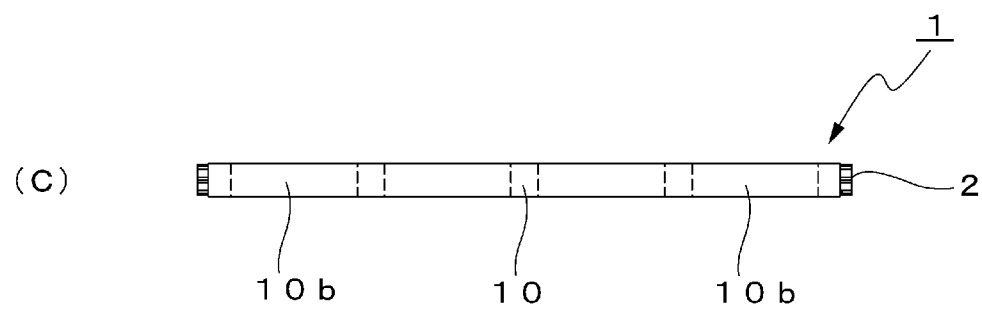
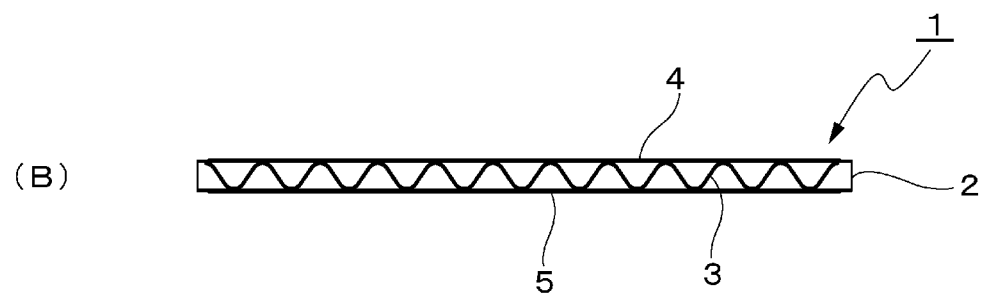
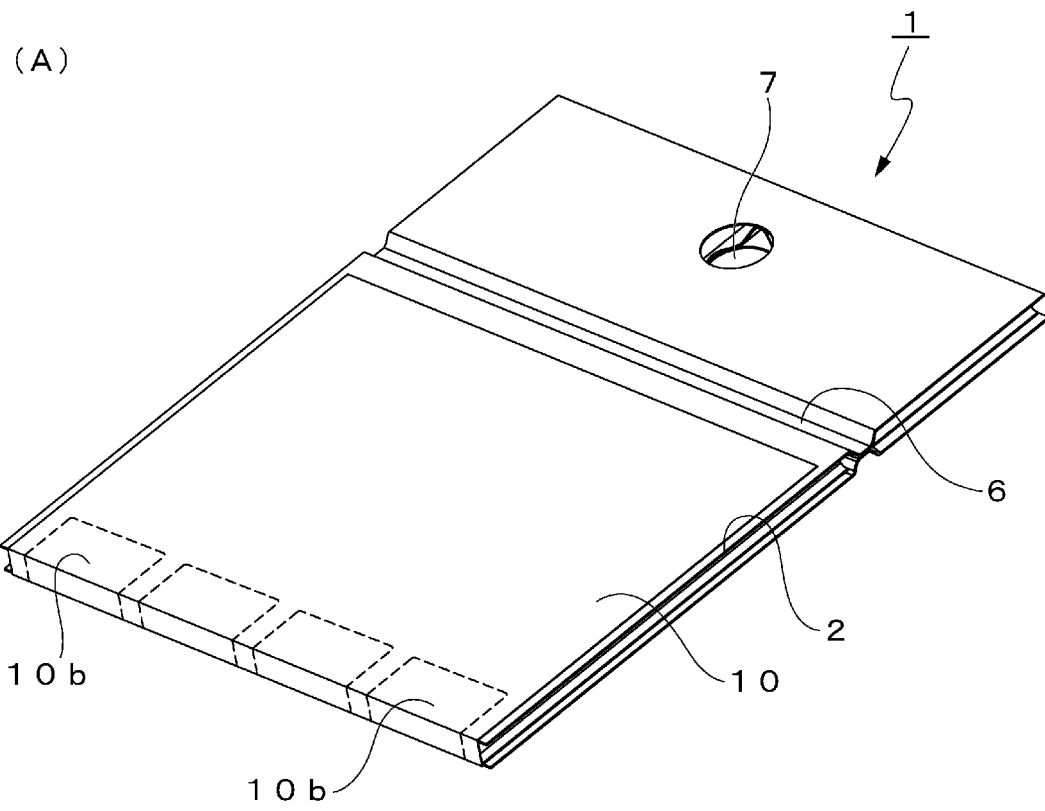
請求の範囲

- [請求項1] 紙基材により波状に形成された中しんと、前記中しんの両面に貼着された紙基材によるライナとを備えた段ボールによる平板体で構成され、
- 前記中しんとライナの間に形成された直線状空間部を替芯収容室として、当該替芯収容室内に筆記具の替芯を収容したことを特徴とする筆記具の替芯パッケージ。
- [請求項2] 前記平板体の端部には、前記替芯収容室の替芯取出し口が形成され、前記替芯取出し口を覆うラベルシールが、前記平板体に貼着されていることを特徴とする請求項1に記載の筆記具の替芯パッケージ。
- [請求項3] 前記替芯収容室の一部には、替芯を収容しない空き室の替芯収容室が設定され、前記替芯は小分けした複数本の替芯を組として、前記空き室となる替芯収容室を除いて、間欠的に前記替芯収容室に収容されていることを特徴とする請求項1に記載の筆記具の替芯パッケージ。
- [請求項4] 前記平板体には、平板体の面に直交する方向に圧縮閉鎖部が施されることで、前記替芯収容室を形成する前記直線状空間部の一方を閉塞したことを特徴とする請求項1に記載の筆記具の替芯パッケージ。
- [請求項5] 請求項1乃至4のいずれか1項に記載の筆記具の替芯パッケージと、当該筆記具の替芯パッケージから取り出された複数本の替芯を収容可能な替芯ケースとを含むことを特徴とする筆記具の替芯セット。

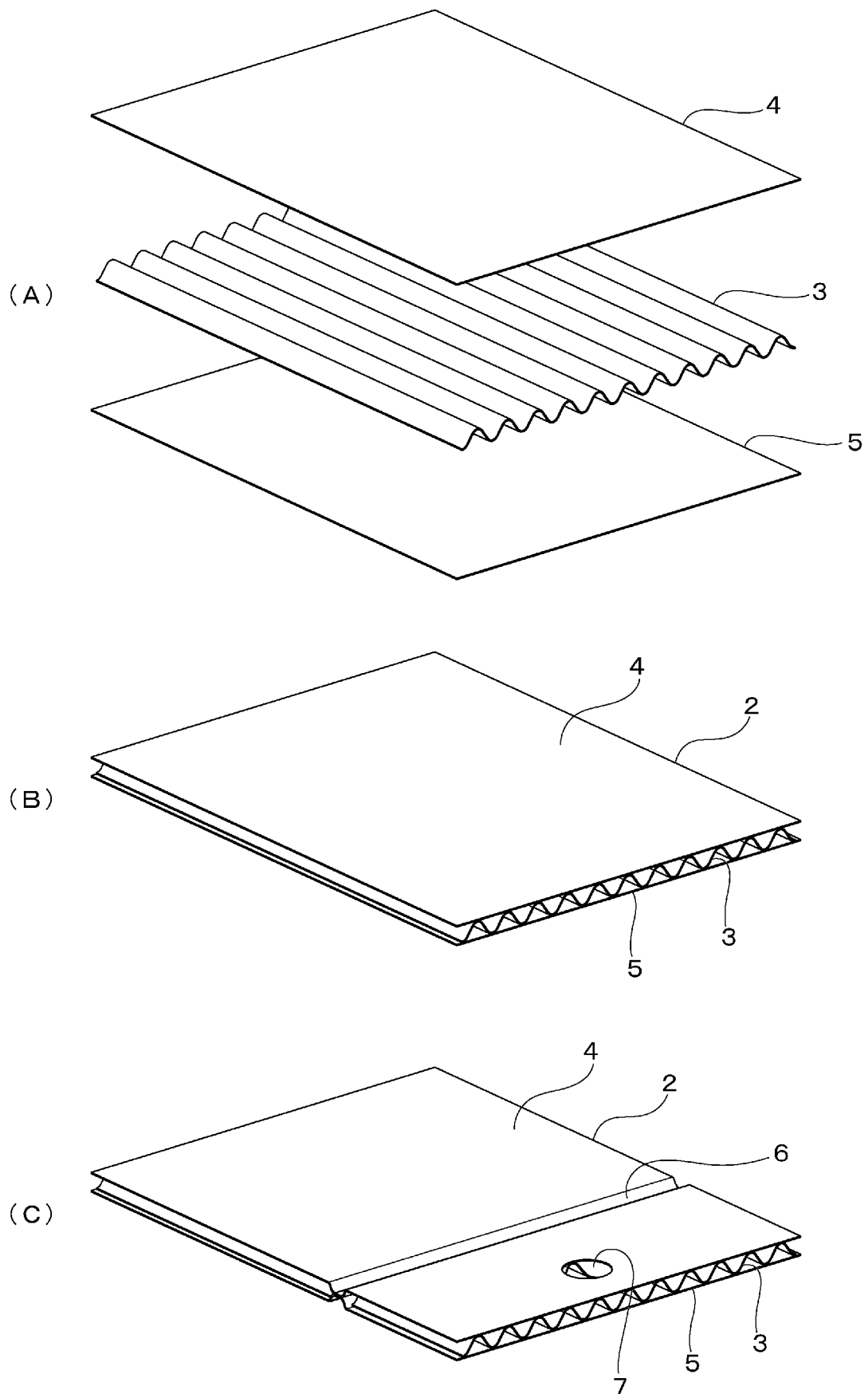
[図1]



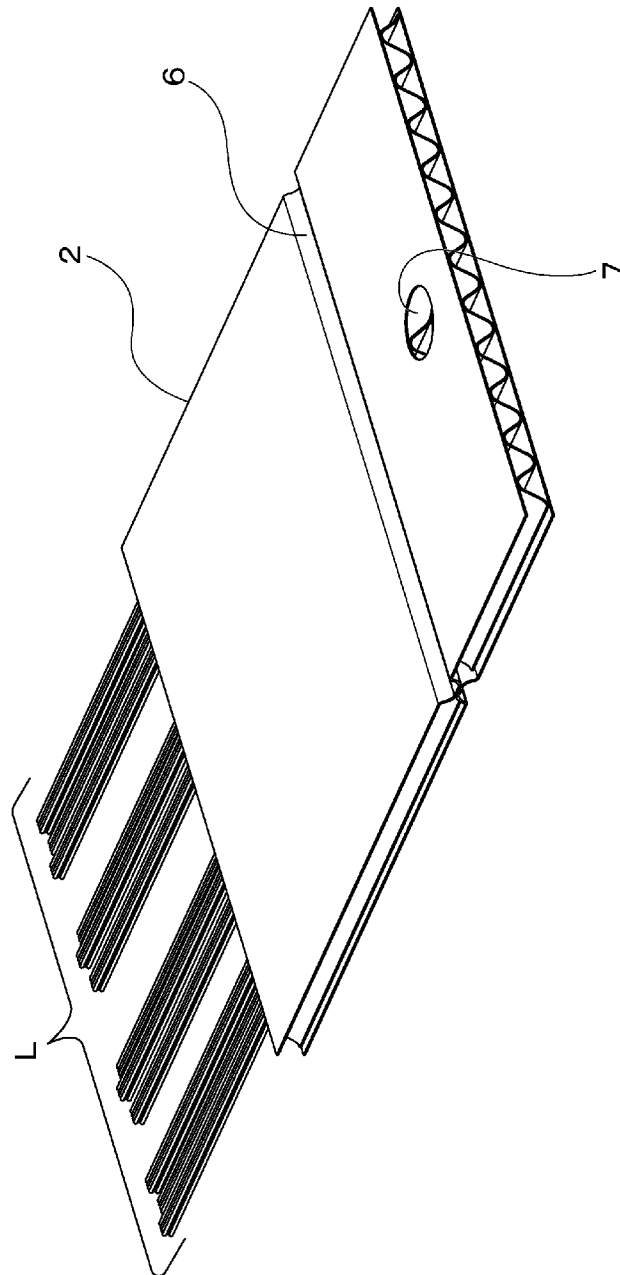
[図2]



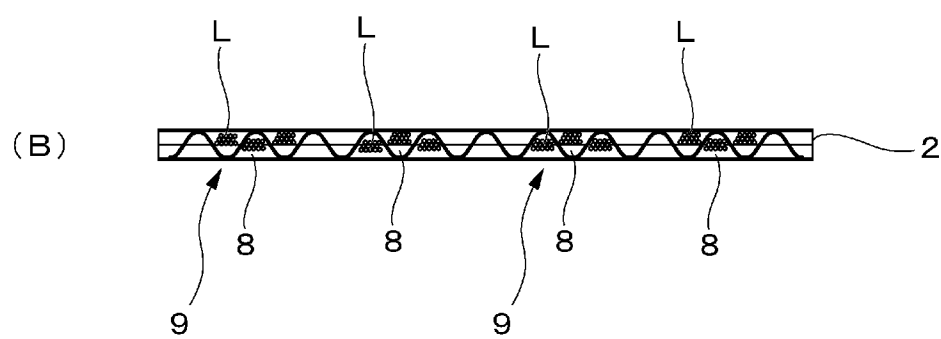
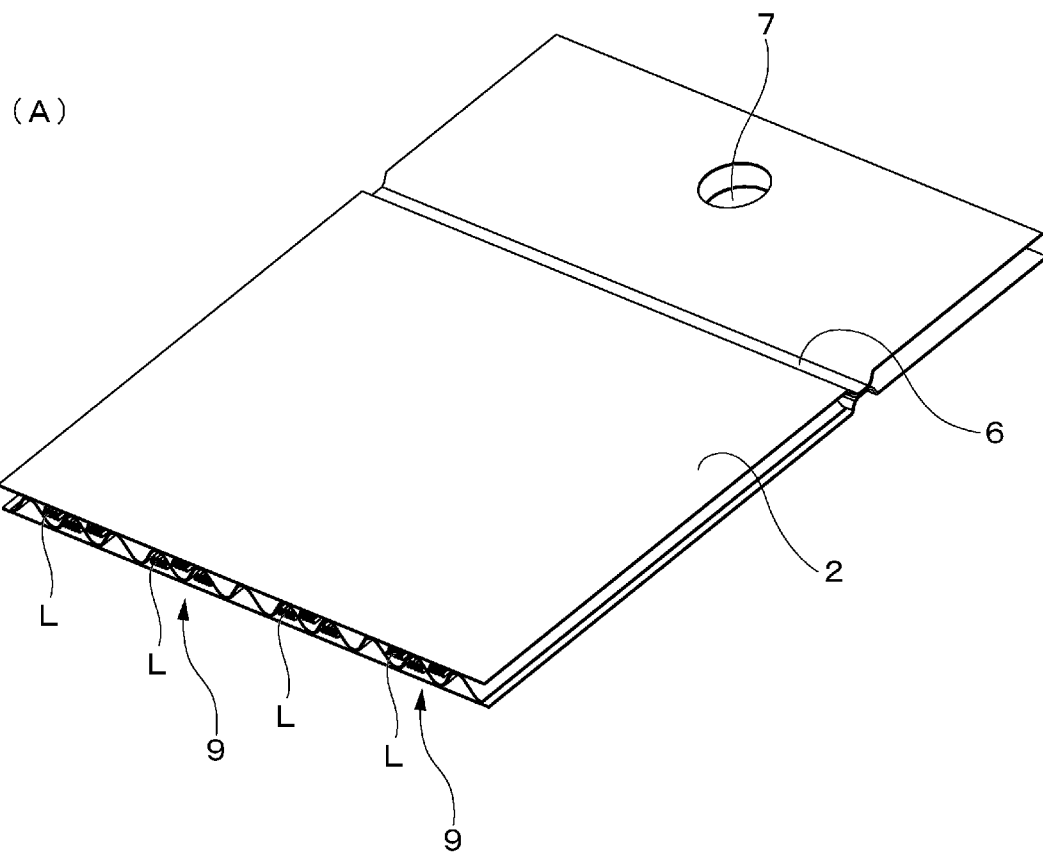
[図3]



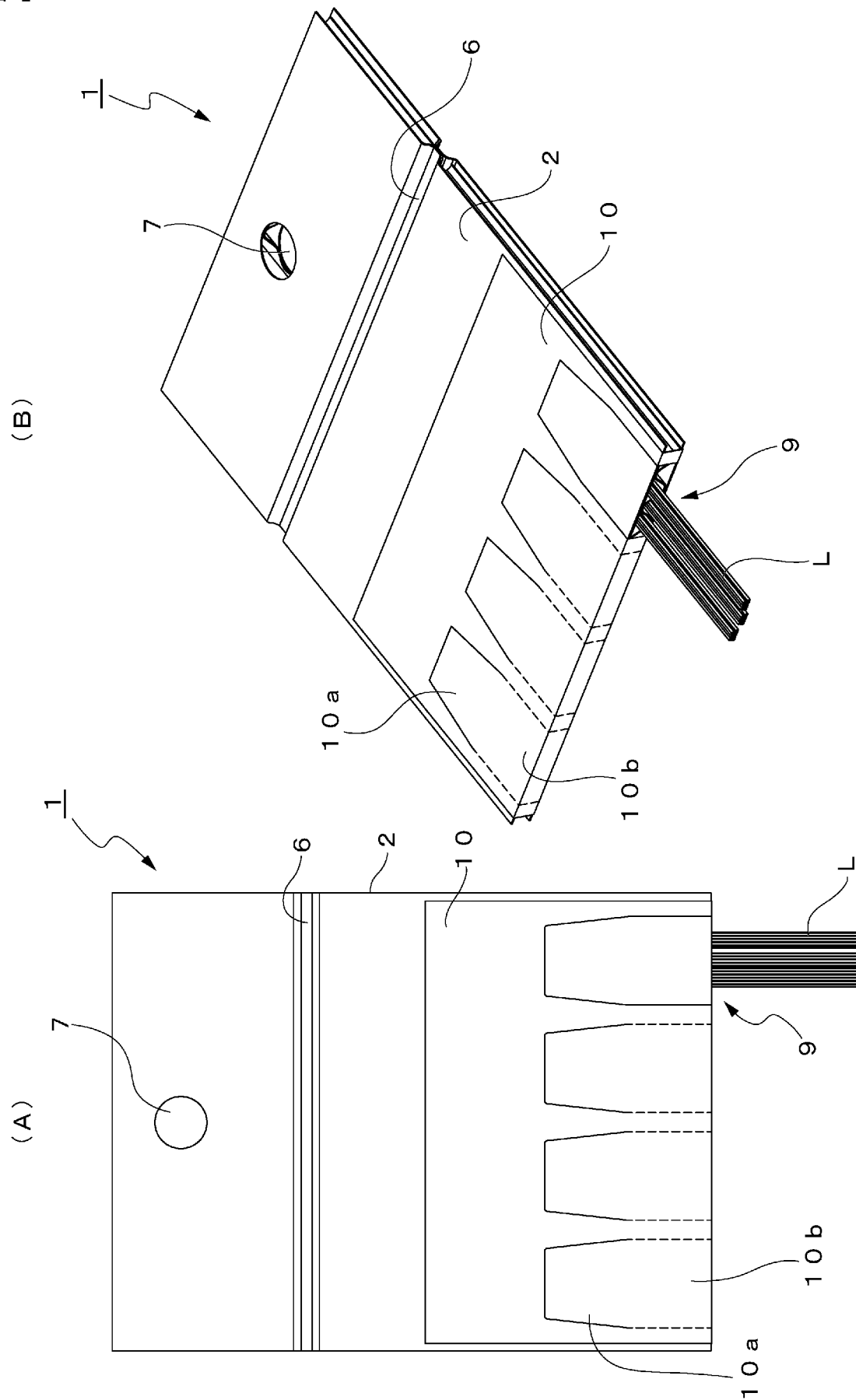
[図4]



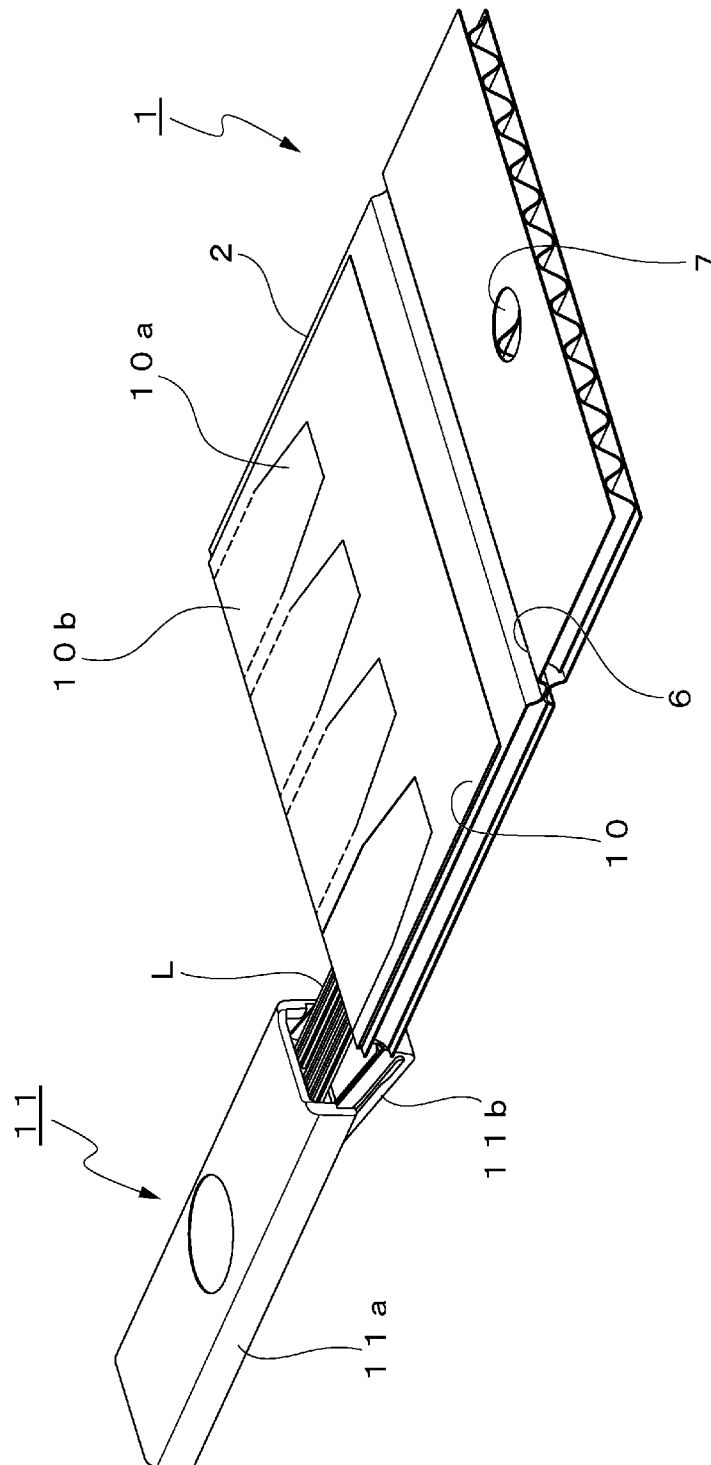
[図5]



[図6]



[図8]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2023/037572

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER**B43K 19/14**(2006.01)i

FI: B43K19/14

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B43K19/14

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996
 Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2023
 Registered utility model specifications of Japan 1996-2023
 Published registered utility model applications of Japan 1994-2023

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2003-80889 A (MIKUNI CORP.) 19 March 2003 (2003-03-19) paragraphs [0021]-[0024], fig. 5, 6	1-5
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 97548/1987 (Laid-open No. 3220/1988) (PIONEER CORP.) 11 January 1988 (1988-01-11), entire text, all drawings	1-5
A	DE 19541443 A1 (CARAN D ACHE CRAYONS) 04 July 1996 (1996-07-04) entire text, all drawings	1-5



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 “E” earlier application or patent but published on or after the international filing date
 “L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 “O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 “P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 “X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 “Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 “&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

21 November 2023

Date of mailing of the international search report

28 November 2023

Name and mailing address of the ISA/JP

Japan Patent Office (ISA/JP)
 3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915
 Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/JP2023/037572

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
JP	2003-80889	A	19 March 2003	(Family: none)	
JP	63-3220	U1	11 January 1988	(Family: none)	
DE	19541443	A1	04 July 1996	CH 688256 A5	
				entire text, all drawings	
				DE 29521697 U1	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） B43K 19/14(2006.01)i FI: B43K19/14										
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） B43K19/14 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの <table border="0"> <tr> <td>日本国実用新案公報</td> <td>1922 - 1996年</td> </tr> <tr> <td>日本国公開実用新案公報</td> <td>1971 - 2023年</td> </tr> <tr> <td>日本国実用新案登録公報</td> <td>1996 - 2023年</td> </tr> <tr> <td>日本国登録実用新案公報</td> <td>1994 - 2023年</td> </tr> </table> 国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）			日本国実用新案公報	1922 - 1996年	日本国公開実用新案公報	1971 - 2023年	日本国実用新案登録公報	1996 - 2023年	日本国登録実用新案公報	1994 - 2023年
日本国実用新案公報	1922 - 1996年									
日本国公開実用新案公報	1971 - 2023年									
日本国実用新案登録公報	1996 - 2023年									
日本国登録実用新案公報	1994 - 2023年									
C. 関連すると認められる文献										
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号								
A	JP 2003-80889 A（株式会社ミクニ）19.03.2003（2003 - 03 - 19） [0021]-[0024], 図5-6	1-5								
A	日本国実用新案登録出願61-97548号（日本国実用新案登録出願公開63-3220号）の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム（パイロット万年筆株式会社）11.01.1988（1988-01-11）全文, 全図	1-5								
A	DE 19541443 A1（CARAN D ACHE CRAYONS）04.07.1996（1996 - 07 - 04） 全文, 全図	1-5								
☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。										
* 引用文献のカテゴリー “A” 特に関連のある文献ではなく、一般的な技術水準を示すもの “E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの “L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） “O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 “P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献 “T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの “X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの “Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの “&” 同一パテントファミリー文献										
国際調査を完了した日 21.11.2023	国際調査報告の発送日 28.11.2023									
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 〒100-8915 日本国 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	権限のある職員（特許庁審査官） 三橋 健二 2C 9412 電話番号 03-3581-1101 内線 3221									

国際調査報告
パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2023/037572

引用文献			公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP	2003-80889	A	19.03.2003	(ファミリーなし)	
JP	63-3220	U1	11.01.1988	(ファミリーなし)	
DE	19541443	A1	04.07.1996	CH 688256 A5	
				全文, 全図	
				DE 29521697 U1	